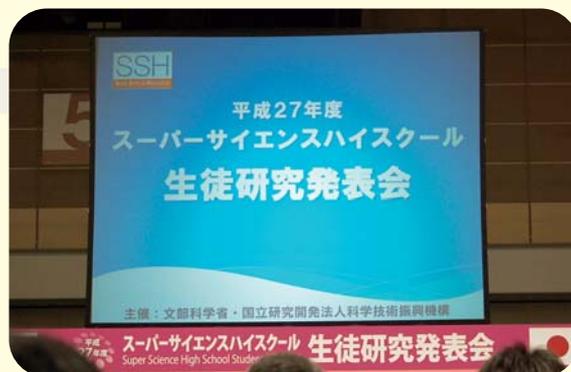




3年目の集大成

『SSH生徒研究発表会』 in インテックス大阪

開星がSSH指定校となって3年目を迎えました。入学以来SSHのプログラムで学んできた高校生が、いよいよ最終学年となりました。その3年生が、これまで学んできたことと、自分自身の研究成果の集大成として「SSH生徒研究発表会」に出場しました。



樋口君会心の発表でした

今年の代表者は62R樋口拓実君。研究テーマは「カイワレ大根の伸長成長に関する因子の研究」でした。彼の研究は、一つの実験が終わるたびに新たな発見があり、まさに発表ギリギリまで実験を繰り返しました。そして、そんな彼を支えたのが、共にSSHで学んできたライバルたちです。ついこの前までは、校内代表を争うライバルでした。しかし、「つながる力」を育んできた彼らは、ポスター作成班、データ解析班、発表原稿班に分かれ樋口君の研究をサポートしてくれました。

この研究で得た一番大切なもの

そして本番では、審査員に「素朴な疑問からよくここまでの研究に育てましたね」「目の付け所が良いです」などの高評価をいただきました。しかし、結果は入賞ならずでした。悔しい思いもしましたが、この研究活動から得た「観察力」「洞察力」「思考力」などは何物にも代えがたいものです。そして、共に切磋琢磨し、支えあった研究仲間の存在も。

次年度へ向けて

今年の発表には高校2年生も9名同行しました。来年は彼らの番です。実は、閉会式で重大な発表がありました。来年度は、すべての参加校が口頭発表へ進む審査をされるそうです(今までは3年目の学校のみ)。ということは、今年しっかりと見学した高校2年生が、しっかりと開星の伝統を受け継ぎ、来年度は全国の舞台上で口頭発表に進んでくれるでしょう。



「つつも」を育てる

このように開星のSSHでは「つつも」の力をしっかりと育てています。新しいものを創造する「つくる力」、自分も周囲の人も活かす「つながる力」、そして困難に耐え失敗を恐れない「もちこたえる力」です。これからもこの「つつも」を合言葉に頑張っていきます。



開星SSHの取り組み紹介 第2回



「科学探究」

開星のSSH事業のメインでもある、開星でしか受けることができない授業「科学探究」のご紹介です。

対象：中学1年生から高校3年生の中高一貫コースと特別進学コース（高校2年生からは理系選択者のみ）。

時間：週2時間（高校1年生は週1時間と、月一回の土曜日集中授業）

内容：「科学」とは何かを学んでいます。最終目標は高校2年生からの課題研究をしっかりと行うこと。世界でただ一つの自分自身の論文を完成させます。

キーワードは「クリティカルシンキング」「仮説の設定」「バイアス」「ものづくり」です。

まず、すべての学年での最初の授業は「クリティカルシンキング」です。日本語では批判的思考と訳されています。テレビやインターネット、時には教師や教科書に書いてあることを「それは本当か？」と疑問を持つことから始まります。科学の芽は「好奇心」であると朝永振一郎博士が言われました。このクリティカルシンキングは、その好奇心を育てます。

そして「仮説の設定」を学び、「バイアス」（思い込みという意味）の怖さを知る授業を行います。

中学生のうちは「ものづくり」でこれらの力を養います。実際に自分たちの考えたものを形にして、それが本当に自分たちの思った通りの性能が出るかどうか。生徒にとっては毎時間「もちこたえる力」が必要です。



CM（コミュニケーション・メソッド）

国語

1学期は日本語によるディベートに取り組みました。論題について肯定側と否定側に分かれてチーム戦を行います。論題について書籍やインターネットで調べ、自分たちの立論の論拠としてふさわしい資料を活用する「情報分析能力」、自分の考えを論理的に記述する「文章表現力」、自分の意見を伝え相手を説得する「コミュニケーション能力」の育成を目標にしています。勝利に向けてチーム内で協力することも必要です。7つのチームに分かれて白熱した試合を行いました。



英語

与えられたテーマに基づき、英語でディスカッションやプレゼンテーションを実際に行い練習する授業です。英語でディスカッションやプレゼンと言うと、「自分にはムリムリ」と思う人も多いかもしれませんが、でも意外なことに、相手に伝えたいと思うことがあると思ったよりも伝わるものです。うまく伝わった時や、発表者の内容が理解できた時には嬉しかったりします。英語を頑張らなきゃと思うよりも、これを絶対伝えてやると思ってやる方が、技量の向上につながります。「英語【を】勉強するぞ!!」と思うのではなく、「英語【で】〇〇を探究するぞ!!」と考えることが大切な授業です。



イベント紹介

11月1日(日)

「開星SSH×宇宙教室」 小学6年生

- 火薬を使って飛ぶロケットを作ろう。
- ロケットの飛ぶ原理を考えよう。

12月19日(土)

「第3回山陰地区SSH成果共有会」

山陰地区のSSH校がその成果を発表します。
ポスター発表100本！

※以上のイベントの情報は、ホームページまたはFacebookページをご覧ください。



開星 中学校
開星 高等学校

学校法人 大多和学園 〒690-0017 島根県松江市西津田9丁目11番1号
TEL.0852-21-4915(代) FAX.0852-21-9118 E-mail:kaisei@kaisei.matsue.shimane.jp
URL <http://www.kaisei.matsue.shimane.jp/>